JSP ニュース

2013年 冬

No.75

証券コード：7942

平成25年4月1日～平成25年9月30日

代表取締役社長　**塚本　耕三**

JSPニュース　No.75　Contents

社長メッセージ …… 01
特集…… 03
トピックス …… 07
連結財務ハイライト …… 08
連結セグメント情報 …… 09
要約連結財務諸表 …… 11
JSPカレンダー …… 13
株主優待制度／配当実績 …… 16
会社情報 …… 17
表紙の写真 …… 18

グループ一丸となって連結中さらなる事業基盤の強化を図

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成26年3月期第2四半期連結累計期間における日本経済は、円安・株高基調で推移し、企業の設備投資は持ち直し、個人消費も底堅く推移するなど緩やかな回復基調となりました。一方、世界経済は、米国では雇用や住宅市場に明るい動きが見られ、アジアでは引き続き高い成長率が継続したものの、欧州では依然として景気低迷が継続しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、世界的な原油価格の上昇と円安による原燃料価格の高騰に加え、電気料金や輸送費の値上がりもあり引き続き厳しい状況が続きました。

このような経営環境の下において、当社グループは、持続的成長と将来の利益確保のため、更なるコスト低減に取り組むと共に、成長分野への積極投資や独自技術に基づいた付加価値の高い製品の販売に注力しました。

次に、各事業本部の状況についてご説明します。

まず、押出事業の第一事業本部ですが、液晶テレビ基盤やデジタル家電輸送用に用いられる産業用包材の発泡ポリエチレンシート「ミラマット」は、大型デジタルテレビの普及が一巡したことによる需要減の影響を受け売り上げが減少しました。

即席麺・弁当容器として広く用いられる食品用包材の発泡ポリスチレンシート「スチレンペーパー」は、堅調な需要に支えられ、売上は増加しました。

建築土木資材分野の主力製品である発泡ポリスチレン押出ボードの住宅用断熱材「ミラフォーム」は、断熱基準強化の法改正に向けての高断熱製品の需要増、景気回復

期経営計画「Deepen＆Grow」を推進し、ってまいります。

による新規住宅着工戸数の増加、震災復興による需要増もあり売上が増加しました。

これらの結果、押出事業の第一事業本部の売上高は、前年同期比9.4%増の18,798百万円となり、営業利益は同21.0%減の898百万円となりました。

次に、ビーズ事業の第二事業本部では、発泡ポリプロピレン「ピーブロック」は、主にバンパーコア材・内装材・シートコア材等の自動車部品のほか、IT製品輸送用通い函・家電製品用緩衝材・競技用グラウンド基礎緩衝材等に用いられており、世界各地で製造販売を行っております。

日本国内では、自動車関連は、エコカー補助金制度の終了や軽自動車販売比率の増加による緩衝材使用量の減少もあり売上が減少しました。

また家電向け緩衝材関連は、家電メーカーの海外移転の影響により売上が減少しました。

北米及びブラジルでは、自動車市場が引き続き好調に推移し売上が増加しました。

欧州では、販売数量は前年同期並みとなりましたが、円安の影響により売上げが増加しました。

アジア地域では、自動車市場及び家電市場が依然高い成長を維持したことから売上が増加しました。

発泡性ポリスチレン「スチロダイア」は、建材・土木分野では、需要が増加し、水産・農業分野及び家電・その他分野では需要が減少しましたが、昨年秋以降の原料高騰に対応した価格是正の寄与もあり、売上は増加しました。

ユニットバス天井材に使用されているハイブリッド成形品「スーパーブロー」は、新モデルの需要が堅調に推移し、売上は増加しました。

これらの結果、ビーズ事業の第二事業本部の売上高は、前年同期比17.5%増の33,034百万円となり、営業利益は同14.6%増の2,179百万円となりました。

これらの結果、その他を合わせた当第2四半期の売上高は、前年同期比13.1％増の54,465百万円となりました。営業利益は同1.1％減の2,798百万円、経常利益は同5.2％増の3,095百万円、四半期純利益は同12.8％増の2,278百万円となりました。

次に、通期連結業績予想につきましては、当初計画した為替レートの見直しや、第2四半期までの国内での製品価格是正の遅れ等を考慮し、前回発表の通期連結業績予想を以下のとおり修正しました。

平成26年3月期の連結業績予想
（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想値	101,000	6,500	6,700	4,300	144.22
今回修正予想値	109,500	6,300	6,400	4,200	140.87

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

塚本耕三

JSPグループの発泡技術が創る安心・安全な未来の地球環境。

現在、地球温暖化が深刻化しつつあります。CO_2などの温室効果ガスが、大気中に蓄積されることによって気温上昇による気候変動の影響はさらに大きくなり、私たちの環境に大きなダメージが及びます。

低炭素社会の実現は、私たちに安心・安全な暮らしをもたらし、さらにそれを未来の世代へと手渡していくものです。

私たちJSPの発泡技術を用いた断熱材は、高い断熱性能で居住空間のエネルギーの消費を抑え、CO_2削減に貢献します。

さらに近年では平成25年改正省エネ法の公布もあり、私たちの製品に大きな期待が寄せられています。

私たちは断熱性能を核とした多彩な発泡技術で、豊かな未来の地球環境の実現に貢献しています。今回はその中から、代表的な製品をご紹介します。

市場のニーズに応えた、断熱素材・応用素材を提供しています。

代表的な製品のご紹介

ミラフォーム®

歴史が長く、高いシェアを誇る主力製品で、断熱材に必要な要素を高機能で兼ね備えています。

ミラフォーム®ラムダ

高性能次世代型断熱材で、気泡形状で熱伝導を限界まで抑制します。

ミラポリカ®フォーム

シロアリに侵食されない唯一の発泡プラスチック断熱材です。

ユカフォーム™

EPSビーズ法ポリスチレンフォームで特殊バネ形状を形成し、遮音機能をプラスした床用断熱材です。

平成25年 改正省エネ法とは？

「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）の一部を改正する等の法律案」は平成25年5月24日国会で可決・成立し、平成25年5月31日に公布されました。

建築材料等に係るトップランナー制度

窓、断熱材等を新たにトップランナー制度の対象に追加し、企業の技術革新を促し、住宅、建築物の断熱性能の底上げを図ります。

電力ピークの需要家側における対策

需要家が、従来の省エネ対策に加え、蓄電池やエネルギー管理システム（BEMS・HEMS）、自家発電の活用等により、電力需要ピーク時の系統電力の使用を低減する取組を行った場合に、これをプラスに評価できる体系にします。具体的には、省エネ法の努力目標の算出方法を見直します。

PSPができるまで

普段、スーパーやコンビニエンスストア等で手にする機会が多い食品トレーですが、JSPでは、その素材となるシート（PSP）を製造しています。
今回の特集では、JSP創立当初からの製品「PSP（ポリスチレンペーパー：発泡ポリスチレンシート）」がどのような場所でどのように作られているのかをご理解頂くために、皆様を誌上工場見学へご案内いたします。

鹿沼第一工場（栃木県鹿沼市）

工場入口

＜製造工程＞

STEP1 ― 原料の投入 ―

（ポリスチレン）
原料、発泡剤を押出機に投入します。

STEP2 ― 混練・押出発泡 ―

投入した原料等を混ぜ合わせ溶かし、指定の厚さに押出発泡させ巻き取ります。

STEP3 ― 養 生 ―

ロール状に巻き取ったシートを所定の温度で発泡に適した状態まで寝かせます。

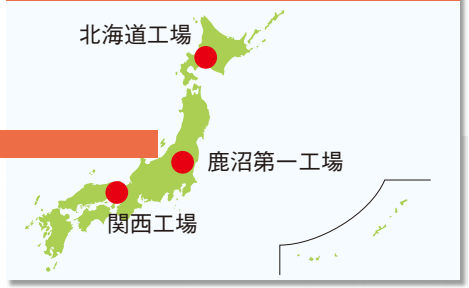
PSPの完成

厳しい品質チェックをパスしたPSPだけが、製品となります。

PolyStyrene Paper PSP（発泡ポリスチレンシート）とは…

プラスチック樹脂に発泡剤などを混ぜて押出し、ロール状に巻いた食品トレー等に使用される成形加工用のシートです。鮮魚肉などのトレー、カップ麺、焼きそばの容器、納豆、弁当、工業用部品トレーなど幅広い用途があります。また、リサイクル性が高く、環境負荷が少ない地球に優しい製品です。

全国　PSP生産工場



PSP製造建屋・タンク

PSPは鹿沼第一工場以外に北海道工場（北海道江別市）、関西工場（兵庫県たつの市）で製造を行っています。
また、鹿沼第一工場はPSPの他にミラマット・キャプロン（緩衝材）やミラフォーム（住宅用断熱材）等を製造しており、JSP全8工場の中で一番大きな工場となります。

STEP4 ―出荷―

お客様の元へ出荷されます。

成形加工（顧客及びグループ会社）

ロール状のPSPは食品トレーへ形を変えて店頭に並びます。

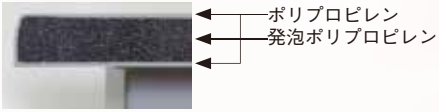
以上のような工程を経て皆様の手元に届くのです。

新製品 ミラパレ®

全面フラットで高クリーン化施設に対応する次世代パレット

このミラパレは、表皮はポリプロピレン、芯材は発泡ポリプロピレン製の当社の独自技術である「スーパーブロー」製品で、サンドイッチ構造が剛性、耐久性を大幅に向上させつつ、発泡製品としての軽量性も兼ね備えています。

断面図



汚れが付きにくく、かつ洗浄もしやすく衛生的。

主な特長として			
	● 衛生性	● 軽量性	● 耐荷重性
	● 耐久性	● 耐衝撃性	● 耐水性　耐薬品性

ポリプロピレンの特性である耐水性、耐薬品性を備えていることに加え腐食やカビもなくクリーンルーム等で用いることに適しています。
さらに、従来品である木製のパレットと同等の軽量性もあり、医薬品、化粧品、食品関連の製品や資材の運搬など幅広い用途での活用が期待されています。

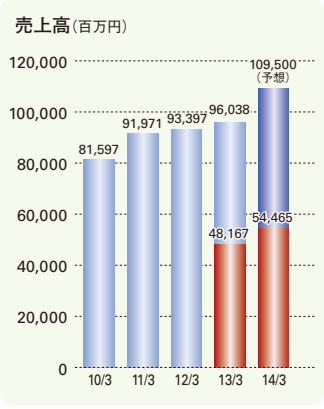
—お問い合わせ窓口—
株式会社JSP 新事業開発室
TEL 03-6212-6386

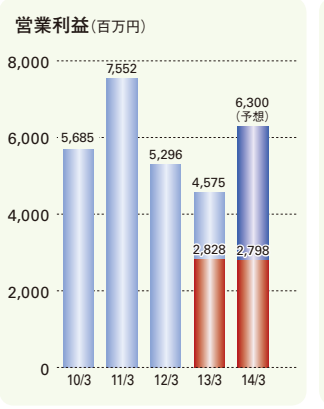
連結財務ハイライト

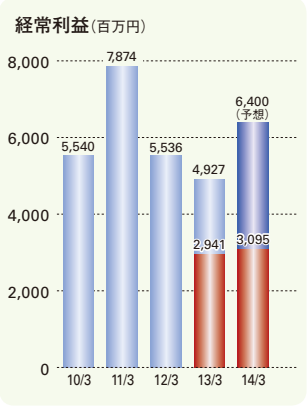
Consolidated Financial Highlights

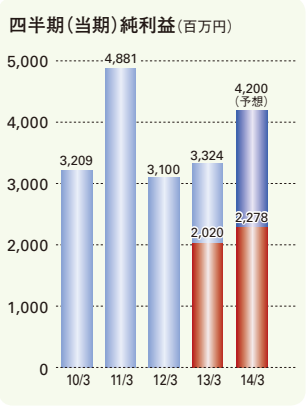
JSP

（単位：百万円）	2010/3	2011/3	2012/3	2012/9	2013/3	2013/9
売上高	81,597	91,971	93,397	48,167	96,038	54,465
営業利益	5,685	7,552	5,296	2,828	4,575	2,798
経常利益	5,540	7,874	5,536	2,941	4,927	3,095
四半期（当期）純利益	3,209	4,881	3,100	2,020	3,324	2,278
純資産	45,912	46,481	47,362	49,403	53,431	58,443
総資産	86,197	89,152	89,072	93,325	95,565	102,285
（単位：%）						
売上高営業利益率	7.0	8.2	5.7	5.9	4.8	5.1
売上高経常利益率	6.8	8.6	5.9	6.1	5.1	5.7
売上高四半期（当期）純利益率	3.9	5.3	3.3	4.2	3.5	4.2
（単位：円）						
1株当たり四半期（当期）純利益	103.35	161.25	103.98	67.78	111.49	76.42
1株当たり純資産	1,391.92	1,470.44	1,499.89	1,552.80	1,671.55	1,825.12
（単位：百万円）						
設備投資	3,203	3,368	6,006	3,006	6,215	3,649
減価償却費	4,688	4,582	4,607	2,082	4,390	2,290









第2四半期累計　通期

連結セグメント情報

Consolidated Segment Information

押出事業

押出事業は、当社グループの売上高の34.5%を占めています。

生活産業資材（食品包材分野）

「スチレンペーパー」は、堅調な需要で売上増加。

スチレンペーパー

生活産業資材（産業資材分野）

「ミラマット」は大型デジタルテレビ需要減で売上減少。他包装材は前年並み。

ミラマット

ピーシャイン

建築土木資材

住宅用断熱材「ミラフォーム」は高断熱住宅需要が引き続き好調で売上増。

ミラフォーム

ミラネクスト

スチロダイアブロック

ビーズ事業

ビーズ事業は、当社グループの売上高の60.7%を占めています。

高機能材 EPP（発泡ポリプロピレン）

国内はエコカー補助金終了、軽自動車比率増で売上減少。北米、南米向け自動車用途順調で売上増。

ピーブロック
（緩衝材）

ピーブロック（自動車部材）

EPS（発泡ポリスチレン）

主原料高騰による製品価格是正が難航。価格是正効果で売上増。

スチロダイア

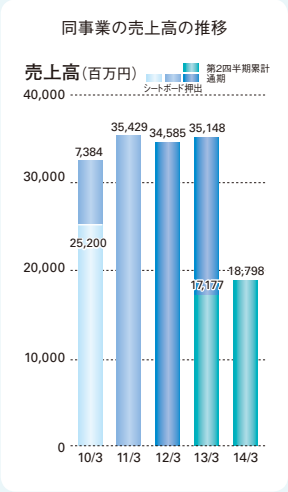
ヒートポール

ブロー成型品

ユニットバス天井材は、新モデルの需要増加により売上も増加。

スーパーブロー

スーパーフォーム



※2010年4月より、これまでのシート事業およびボード事業を統合し、押出事業としております。

その他

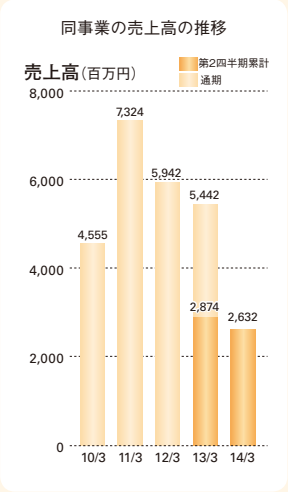
その他は、当社グループの売上高の4.8%を占めています。

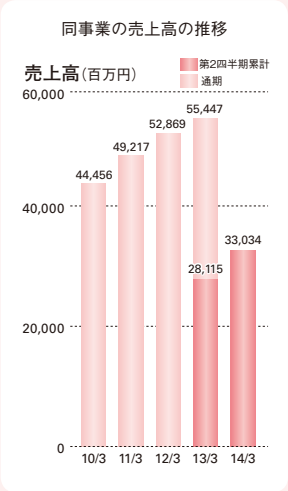
国内一般包材

家電市場の低迷により販売は低調に推移。

中国一般包材

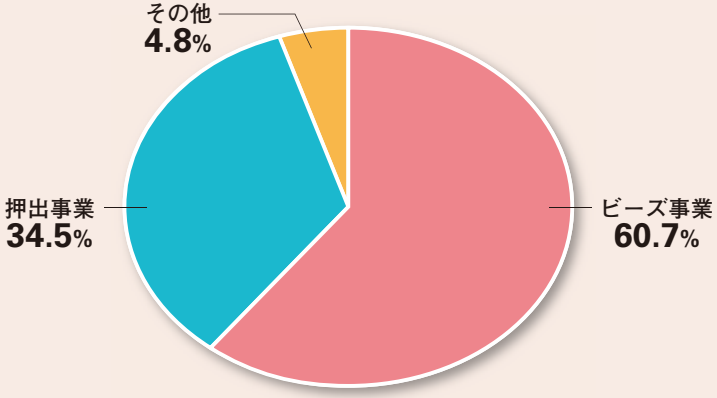
省エネ家電の購入に対する補助金の打ち切りもあり需要が低迷。





※2011年4月より、これまで「その他」に区分しておりましたスーパーブロー並びにスーパーフォームは、ビーズ事業に移管しております。

事業別売上高構成比



要約連結財務諸表

Summary of Consolidated Finalcial Statements

要約四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

（資産の部）	当第2四半期 2013年9月30日現在	前第2四半期 2012年9月30日現在	前年同期比 増減額
❶ 流動資産	56,869	53,471	3,397
現金及び預金	11,940	11,769	170
受取手形及び売掛金	30,790	29,713	1,076
有価証券	32	54	△ 21
商品及び製品	6,360	5,526	834
仕掛品	889	698	191
原材料及び貯蔵品	4,130	3,373	757
その他	3,044	2,555	489
貸倒引当金	△ 319	△ 218	△ 100
❷ 固定資産	45,415	39,854	5,561
有形固定資産	41,238	36,120	5,118
建物及び構築物	12,202	11,008	1,194
機械装置及び運搬具	11,699	9,132	2,567
土地	14,108	13,057	1,050
その他	3,228	2,921	307
無形固定資産	1,081	1,033	47
投資その他の資産	3,095	2,700	395
投資有価証券	1,712	1,625	87
その他	1,406	1,094	312
貸倒引当金	△ 22	△ 19	△ 3
資産合計	102,285	93,325	8,959

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

（負債の部）	当第2四半期 2013年9月30日現在	前第2四半期 2012年9月30日現在	前年同期比 増減額
流動負債	30,948	31,946	△ 998
支払手形及び買掛金	9,947	10,287	△ 339
短期借入金	7,150	7,115	35
1年内返済予定の長期借入金	4,639	5,700	△ 1,060
その他	9,209	8,843	366
❸ 固定負債	12,893	11,976	917
長期借入金	10,497	10,020	477
その他	2,396	1,955	440
負債合計	43,841	43,922	△ 80
（純資産の部）			
株主資本	57,103	54,416	2,686
資本金	10,128	10,128	—
資本剰余金	13,405	13,405	—
利益剰余金	34,942	32,255	2,687
自己株式	△ 1,373	△ 1,372	△ 1
その他の包括利益累計額	△ 2,687	△ 8,118	5,431
その他有価証券評価差額金	183	21	161
為替換算調整勘定	△ 2,870	△ 8,140	5,270
少数株主持分	4,027	3,105	922
❹ 純資産合計	58,443	49,403	9,040
負債及び純資産合計	102,285	93,325	8,959

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

❶流動資産
流動資産は、前年同期比3,397百万円増の56,869百万円となりました。主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金が1,076百万円増加したこと等によるものです。

❷固定資産
固定資産は、前年同期比5,561百万円増の45,415百万円となりました。主な要因としましては、有形固定資産が5,118百万円増加したこと等によるものです。

❸固定負債
固定負債は、前年同期比917百万円増の12,893百万円となりました。主な要因としましては、長期借入金が477百万円増加したこと等によるものです。

❹純資産及び自己資本比率
純資産は、前年同期比9,040百万円増の58,443百万円となりました。また、自己資本比率は、53.2%となりました。

要約四半期連結損益計算書（累計）

（単位：百万円）

	当第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前第2四半期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	前年同期比 増減額
❺ 売上高	54,465	48,167	6,297
売上原価	40,737	34,976	5,761
売上総利益	13,728	13,191	536
販売費及び一般管理費	10,929	10,363	566
❻ 営業利益	2,798	2,828	△ 29
営業外収益	463	430	32
営業外費用	166	317	△ 150
❻ 経常利益	3,095	2,941	153
特別利益	46	26	19
特別損失	22	92	△ 69
税金等調整前四半期純利益	3,118	2,876	242
法人税等	742	699	42
少数株主損益調整前四半期純利益	2,376	2,176	199
少数株主利益	97	155	△ 57
❻ 四半期純利益	2,278	2,020	257

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

❺売上高
国内では、大型液晶テレビの普及の一巡や家電メーカーの海外移転、エコカー補助金制度の終了等の影響を受けた一方、住宅用断熱材が断熱基準強化の法改正による需要増加や景気回復による新規着工件数の増加、震災復興による需要増などの追い風を受けました。海外では、北米及びブラジルでの自動車市場、アジアでの自動車や家電市場が好調に推移し、欧州では円安の影響等により売上が増加しました結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、54,465百万円（前年同期比13.1％増）となりました。

❻営業利益、経常利益、四半期純利益
世界的な原油価格の高騰による樹脂及び燃料価格の大幅な上昇に加え、電力料金や輸送費の値上がりもあり、事業環境は引き続き厳しい状況が続きましたが、更なるコスト低減と付加価値の高い製品の販売に注力しました結果、営業利益は2,798百万円（前年同期比1.1％減）、経常利益は3,095百万円（同5.2％増）、四半期純利益は2,278百万円（同12.8％増）となりました。

四半期連結包括利益計算書（累計）

（単位：百万円）

	当第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前第2四半期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	前年同期比 増減額
少数株主損益調整前四半期純利益	2,376	2,176	199
その他の包括利益			
その他有価証券評価差額金	44	△ 126	170
為替換算調整勘定	2,963	188	2,774
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0	△ 0
その他の包括利益合計	3,007	62	2,945
四半期包括利益	5,384	2,238	3,145
（内訳）			
親会社株主に係る四半期包括利益	5,025	2,024	3,001
少数株主に係る四半期包括利益	358	213	144

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

要約四半期連結キャッシュ・フローの状況（累計）

（単位：百万円）

	当第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前第2四半期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	前年同期比 増減額
❼ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,362	3,353	△ 991
❽ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,531	△ 3,059	△ 471
❾ 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,074	1,779	△ 705
現金及び現金同等物四半期末残高	7,402	8,139	△ 737

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

❼営業活動によるキャッシュ・フロー
増加要因である税金等調整前四半期純利益3,118百万円、減価償却費2,290百万円等に対し、減少要因である仕入債務の減少1,542百万円、売上債権の増加862百万円、法人税等の支払額549百万円等により、差引き2,362百万円の収入（前年同期比991百万円減少）となりました。

❽投資活動によるキャッシュ・フロー
固定資産の取得による支出3,649百万円等により、3,531百万円の支出（前年同期比471百万円増加）となりました。

❾財務活動によるキャッシュ・フロー
長期借入れによる収入4,400百万円及び短期借入金の純増による収入579百万円に対し、長期借入金の返済による支出3,269百万円、配当金の支払額447百万円等により、差引き1,074百万円の収入（前年同期比705百万円減少）となりました。

2013

7 July

「第26回インターフェックスジャパン」に出展

7月10日～12日の3日間、東京ビッグサイトで開催された「第26回インターフェックスジャパン」に、高クリーン化施設にも対応する次世代パレット「ミラパレ」を初公開・出展いたしました。展示ブースでは、「ミラパレ」をはじめ医薬品、化粧品関連に役立つ発泡製品を展示し、お客様の個々の問題を一つ一つ解決する清浄空間環境のご提案をいたしました。

「三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱主催 個人投資家向け説明会（立川支店）」に参加

7月16日、三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱が主催し、立川支店で開催の「個人投資家向け説明会」に参加いたしました。

「コーポレートガバナンス報告書」の情報を更新

7月17日、「コーポレートガバナンス報告書」の情報を更新し、ホームページに掲載いたしました。

「SMBC日興証券㈱主催 個人投資家向け説明会（熊本支店）」を開催

7月19日、SMBC日興証券㈱が主催し、熊本支店で開催の「個人投資家向け説明会」に参加いたしました。

「平成26年3月期　第1四半期決算短信」を発表

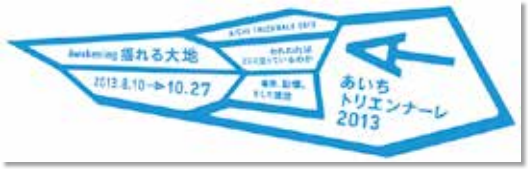
7月30日、東京証券取引所に平成26年3月期第1四半期決算短信を報告し、対外発表いたしました。

（単位：百万円）	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成26年3月期　第1四半期（当期）	**26,068**	**1,052**	**1,254**	**930**
平成25年3月期　第1四半期（前期）	23,952	1,475	1,519	1,055
参考：平成25年3月期	96,038	4,575	4,927	3,324

8
August

「あいちトリエンナーレ2013」の開催に協力

8月10日～10月27日の間、3年に一度愛知県で開催される国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」の開催に発泡ポリスチレン（EPS）素材の提供に協力いたしました。



9
September

「アニュアルレポート2013」※（英語版）を発行

おもに海外の投資家、取引先様に向けて、2013年3月期決算の財務諸表などを掲載した「アニュアルレポート2013」（英語版）を発行いたしました。

「RC報告書2013」※を発行

2012年度に当社が取組んだ環境と安全に関する活動の報告書を発行いたしました。当社事業活動における環境保全、保安防災、労働安全衛生、化学品・製品安全、物流安全、社会との対話の具体的な活動について報告しております。

※「アニュアルレポート」および「RC報告書」はホームページへ掲載いたしております。
ホームページURL：http://www.co-jsp.co.jp/

9月30日　平成26年3月期第2四半期　決算日

資本金の変更（平成25年9月30日現在）

資本金	**平成25年9月30日現在**	**10,128百万円＜増加なし＞**
	平成25年3月31日在（前回報告）	10,128百万円
発行済株式総数		31,413,473株

2013

10 October

「平成26年3月期　第2四半期決算短信」を発表

10月30日、東京証券取引所に平成26年3月期第2四半期決算短信を報告し、対外発表いたしました。

11 November

決算説明会開催

11月15日、如水会館において、アナリスト・ファンドマネージャーに対し、平成26年3月期第2四半期決算の説明会を開催いたしました。

今後の予定

2014年1月下旬　　平成26年3月期　第3四半期決算　発表予定

株主優待制度／配当実績

Shareholder Benefit/Dividend Record

株主優待制度

〈デザイン見本〉

■対象株主様

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または登録された1単元（100株）以上を保有されている株主様

■優待の内容

一律3,000円相当の、社会貢献寄附金付オリジナルクオカード（株主様は3,000円全額ご使用いただけます）

■贈呈の時期

毎年の株主総会終了後に発送予定

■社会貢献寄附金「緑の募金」について

1995年に制定された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、（公社）国土緑化推進機構及び各都道府県緑化推進委員会が行っている募金です。集められた寄附金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりなどに活用されています。

配　当　実　績

■株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な政策として位置付けております。利益の配分につきましては、安定した配当を重視するとともに、各事業年度の連結業績と将来の事業展開に必要な内部留保の充実などを勘案しながら、総合的に決定する方針としております。

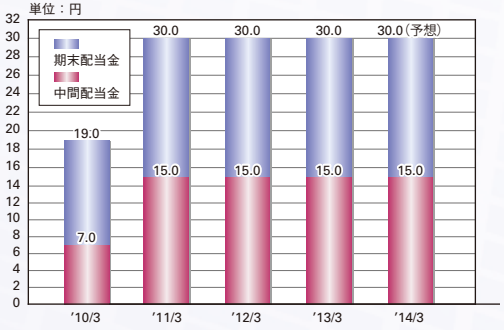
内部留保資金につきましては、財務体質の強化とともに、今後の新製品、新技術への研究開発投資や新規事業展開のための設備投資に充当してまいります。

なお、当社は、会社法第459条第1項に基づく剰余金の配当を取締役決議により行なうことができる旨定款に定めており、中間配当及び期末配当の年2回の取締役決議による配当を基本的な方針としております。

■当期配当金

当2014年3月期第2四半期の1株当たりの配当金は15円とさせていただきます。また、期末配当金も1株当たり15円（通期配当金額30円）とさせていただく予定です。

■配当実績



会社情報（2013年9月30日現在）

Corporate Data

会社概要

商号	株式会社JSP
所在地	本社　東京都千代田区丸の内三丁目4番2号
事業内容	発泡プラスチック、 その他合成樹脂製品の製造販売および輸出、 土木・建築工事の設計・請負および管理
設立	1962年（昭和37年）1月
資本金	10,128百万円
決算期	3月
従業員数	699名　出向者除く 連結2,692名（国内1,258名・海外1,434名）
事業所他	5営業所、1出張所、8工場、2研究所
主要関係会社	国内10社、海外28社

大株主

株主名	株数（千株）
三菱瓦斯化学株式会社	13,212
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,942
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,582
JSP取引先持株会	1,090
シー エム ビー エル, エス エー リ. ミューチャル ファンド	784
ジェーピー　モルガン　チェース　バンク　385166	732
野村信託銀行株式会社	589
JSP従業員持株会	450
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン オムニバス アカウント	449
日本生命相互会社	277

当社は自己株式1,598千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.co-jsp.co.jp/ir/index.html （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。）

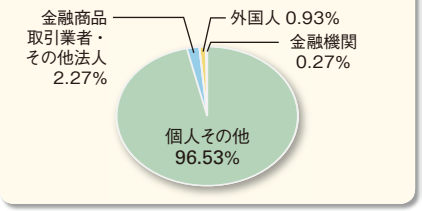
（ご注意）

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

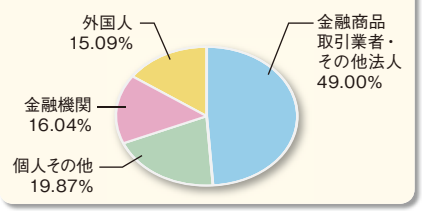
株式の状況

発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式の総数	31,413,473株
株主数	12,345名

● 株主数別分布状況 ●



● 株式数別分布状況 ●



「聖母子教会（フラウエン教会）前の朝市」

ドイツ　ニュルンベルク市

撮影・文
清 水　準 一（写真家）

「美しの泉」　　教会と泉の塔は隣接しています

ニュルンベルクは人口50万たらずの地味な都市ですが、日本ではよく知られた街です。

それはこの地で行われたナチス戦犯に関する「ニュルンベルク裁判開催」の印象が強いからでしょう。しかし、本来は「玩具の街」また、ドイツの作曲家リヒャルト・ワグナーの歌劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー※1」の舞台などで知られた中世そのもののロマンチックな街です。ではなぜ連合国側がこの地を裁判の性格に似つかわしくないのに選んだかというと、それにはきちんとした歴史的理由があります。

ナチスは結党時より、この地を「第3帝國のイデオロギー※2上の首都」としていましたので、党大会開催の地として連続的に使用していました。連合国側は「ナチス発生の地」とみなしていたのです。特にナチスが急激に党勢を伸ばした1935年の党大会の記録を「意志の勝利」と題し世界に発信し、欧州諸国を震撼せしめたのです。言い換えると裁判をこの地で挙行する事は「きつい戒め」だったのです。

この記録映画の監督は後に「ベルリンオリンピック」の記録映画で有名になった女流監督レニ・リーフェンシュタールです。

歴史的に見て、この街が一番輝いていた時代は15～16世紀で、当時は中世の交通の要だったそうです。その優雅な町並みもドレスデン※3並みの猛爆で灰燼に帰しましたが、ドイツ人の根性で見事に復興させレンガ色の町並み・石畳の坂など古風な佇まいは、訪れた人に感銘を与えています。

表紙の写真は「カール4世※4と7人の選帝侯※5の仕掛け時計（1日1回＝正午）で有名な聖母子教会（フラウエン教会）前の朝市」の風景です。並べてある商品は花と果物・野菜などで、市民の「春待ち」の心情がよく伝わってきます。よく見るとパイナップルもあります。

上の写真はゴシック様式の「美しの泉（シェーナー・ブルンネン）」は14世紀の作で、この地で最も人気のある観光の目玉の一つで、40もの人物像で飾られています。即ち、モーゼ※6と預言者たち、7人の選帝侯、9人の英雄たちで、内訳は3人が古代の英雄・3人はユダヤ人・3人はキリスト教徒の英雄たちです。鮮やかな人物像のデザインは、灰色の冬の街を彩り市民に活気をあてています。

※1　マイスタージンガー
名歌手、14世紀頃ドイツにおこった詩人音楽家たちの物語。

※2　イデオロギー
信念や態度、意見などの体系。

※3　ドレスデン
ドイツ東の端で、チェコとの国境近くに位置する町。1945年に連合国軍より爆撃を受けた。

※4　カール4世
1316年チェコ　プラハ生まれ。神聖ローマ皇帝。

※5　選帝侯
中世ドイツで、神聖ローマ皇帝を選挙する特権を持った諸侯。選挙候とも呼ばれる。

※6　モーゼ
ユダヤ教、キリスト教等多くの宗教において最も重要な預言者の一人（新約聖書より）。

Network

本社・事業所一覧

本　社			☎
	〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-4-2（新日石ビル）	03-6212-6300

営業所			
札幌	〒060-0003	札幌市中央区北3条西1-1（サンメモリアビル）	011-231-2681
仙台	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-4-1（仙台興和ビル）	022-262-3271
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦3-4-6（桜通大津第一生命ビル）	052-962-3225
大阪	〒541-0053	大阪市中央区本町1-6-16（いちご堺筋本町ビル）	06-6264-7900
福岡	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東1-12-17（五幸ビル）	092-411-6854

出張所			
広島	〒732-0052	広島市東区光町1-12-20（もみじ広島光町ビル）	082-568-0566

工　場			
北海道	〒067-0051	北海道江別市工栄町23-4	011-384-1621
鹿沼第一	〒322-8511	栃木県鹿沼市さつき町17	0289-76-2211
鹿沼第二	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町5	0289-76-3271
事務管理センター	〒322-8511	栃木県鹿沼市さつき町17	0289-76-2211
鹿沼物流センター	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町13-1	0289-76-2121
再資源センター	〒322-0026	栃木県鹿沼市茂呂638	0289-76-6606
鹿島	〒314-0103	茨城県神栖市東深芝16-3	0299-93-4111
四日市第一	〒510-0881	三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1220
四日市第二	〒510-0955	三重県四日市市北小松町扇廣1600	059-328-2563
関西	〒679-4304	兵庫県たつの市新宮町下笹515	0791-77-0213
九州	〒861-0111	熊本県熊本市北区植木町宮原553	096-274-7101

研究所			
鹿沼	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町10-3	0289-76-1600
四日市	〒510-0881	三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1245

海　外

北　米
- JSP International, LLC.（アメリカ）
- JSP International de Mexico, S.A. de C.V.（メキシコ）

南　米
- JSP Brasil Indústria De Plásticos Ltda.（ブラジル）

欧　州
- JSP International SARL（フランス）
- JSP International GmbH & Co.KG（ドイツ）
- JSP International s.r.o.（チェコ）
- JSP International o.o.o.（ロシア）

アジア
- JSP Foam Products, PTE. Ltd.（シンガポール）
- Taiwan JSP Chemical Co., Ltd.（台湾）
- KOSPA Corporation（韓国）
- JSP Plastics (Wuxi) Co., Ltd.（中国）
- JSP Plastics (Shanghai) Co., Ltd.（中国）
- Kunshan JSP Seihoku Packaging Material Co., Ltd.（中国）
- JSP Plastics (Dongguan) Co., Ltd.（中国）
- JSP Foam India Pvt. Ltd.（インド）

JSP

発行　**株式会社 JSP**

東京都千代田区丸の内三丁目4番2号新日石ビル

IR室　TEL.03-6212-6306　FAX.03-6212-6302

ホームページ　www.co-jsp.co.jp

VEGETABLE OIL INK

R70 古紙配合率70%再生紙を使用しています